

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公表番号】 特表 2002-538775 (P2002-538775A)
 【公表日】 平成 14 年 11 月 19 日 (2002.11.19)
 【出願番号】 特願 2000-593635 (P2000-593635)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 A 6 1 P 19/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/10 (2006.01)
 C 0 7 K 7/06 (2006.01)
 C 0 7 K 7/08 (2006.01)
 C 1 2 P 21/02 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 A 6 1 K 38/22 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 P 19/00
 A 6 1 P 19/10
 C 0 7 K 7/06
 C 0 7 K 7/08
 C 1 2 P 21/02 C
 G 0 1 N 33/53 D
 A 6 1 K 37/24

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 1 月 12 日 (2007.1.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 以下から選択される、哺乳動物における骨成長を促進する単離されたポリペプチド： (i) 配列番号：12として同定されるアミノ酸配列より選択される8から13個までの連続したアミノ酸からなるポリペプチドであって、その3から10のアミノ酸配列を含むポリペプチド； (ii) 配列番号：13として同定されるアミノ酸配列より選択される最大13個までの連続したアミノ酸からなるポリペプチドであって、その6から16のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および (iii) 哺乳動物における骨成長を促進する (i) または (ii) のポリペプチドの保存的置換変異体。

【請求項 2】 配列番号：12として同定されるアミノ酸配列より選択される8から13個までの連続したアミノ酸からなり、およびその3から10のアミノ酸配列を含む、請求項 1 記載のポリペプチド。

【請求項 3】 高ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で第2の核酸分子にハイブリダイズする第1の核酸分子にコードされるアミノ酸配列を含む、哺乳動物における骨成長を促進する単離されたポリペプチドであって、高ストリンジェントな条件が 50℃で約 0.2× SSCの洗浄段階を含み、第2の核酸分子の相補的なコード鎖が配列番号：12として同定されるアミノ酸配列より選択される8から13個までの連続したアミノ酸からなるポリペプチドをコードする、単離されたポリペプチド。

【請求項 4】 最大12個のアミノ酸を含む、請求項1、2、または3記載のポリペプチド。

【請求項 5】 最大11個のアミノ酸を含む、請求項4記載のポリペプチド。

【請求項 6】 最大10個のアミノ酸を含む、請求項5記載のポリペプチド。

【請求項 7】 最大9個のアミノ酸を含む、請求項7記載のポリペプチド。

【請求項 8】 最大8個のアミノ酸を含む、請求項6記載のポリペプチド。

【請求項 9】 N末端アミノ酸およびC末端アミノ酸の一方もしくは他方が保護基によって保護されるか、またはN末端アミノ酸およびC末端アミノ酸の両方が保護基によって保護される、請求項1から8のいずれか一項記載のポリペプチド。

【請求項 10】 哺乳動物における骨成長を促進するポリペプチドであって、請求項1から8のいずれか一項に定義されるポリペプチドを含む、キメラの骨刺激因子。

【請求項 11】 請求項1から請求項8のいずれか一項記載の任意のポリペプチドの発現をコードする単離されたDNA断片、及び遺伝子コードの縮退によって該断片とは異なるDNA。

【請求項 12】 請求項1から請求項8記載のいずれか一項記載の任意のポリペプチドの発現をコードするDNA配列を含むベクター。

【請求項 13】 請求項12記載のDNA断片を含む異種のDNA配列を含むベクター。

【請求項 14】 請求項1から請求項8のいずれか一項記載のポリペプチドを製造する方法であり、以下の段階を含む方法：a) 該ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含むDNA断片を調製する段階；b) 該DNA断片を含み、複製に耐えうる組換えDNA断片を得るために、該DNA断片を発現ベクターへ組込む段階；c) 該ポリペプチドを発現できる形質転換体を単離するために、該組換えDNA断片で宿主細胞を形質転換する段階；およびd) 形質転換体に該ポリペプチドを産生させるための該形質転換体を培養し、得られた培養混合物から該ポリペプチドを回収する段階。

【請求項 15】 請求項1から請求項9のいずれか一項記載のポリペプチドの治療上有効な量を含む、骨成長を促進するための薬学的組成物。

【請求項 16】 活性成分として請求項1から請求項9のいずれか一項記載のポリペプチドを含む、骨減少関連疾患の予防および治療における使用のための薬剤。